エコアクション21

環境経営レポート

対象期間：2022年9月～2023年8月

菊池市泗水町
孔子公園花火大会

発行　2023年10月31日

株式会社トーカイ

目　次

項　　目	ページ
1. 環境経営方針	2
2. 組織の概要	3
3. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
4. 主な環境負荷の実績	5
5. 中期環境経営目標	5
6. 2022年度環境経営目標及びその実績	6
7. 環境経営計画とその実施状況	7
8. 取組状況の確認・評価、次年度の取組	8
9. 環境関連法規等の遵守状況	9
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	10
11. 地域貢献活動	10

1. 環境経営方針

◈ 環境経営理念

弊社は、変わりゆく社会のニーズに対応しながら

Be kind to people Take care of the earth（人に優しく、地球に優しい）

の精神で社員一人ひとりが環境保全への意識を高め、最新の技術力と活動を

もって企業活動し地域社会に貢献します。

◈ 環境経営への行動指針

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の

枯渇への対応が人類共通の需要課題との認識にたち、建設業の事業活動に

おける環境負荷の低減を図るために、社員一丸となって自主的・積極的に

環境経営の継続的改善に取り組みます。

〈 行動計画 〉

具体的につぎのことに取り組みます

① 働き方改革への取組

② 電力・自動車や重機燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

③ 建設資材の省資源、廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進

④ 節水の励行

⑤ 環境に配慮した工法の推進

⑥ 地域貢献活動

環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

制定日 ： 平成27年10月1日
改定日 ：平成28年 5月1日
改定日 ： 令和 2年 7月3日

株式会社トーカイ
代表取締役　平川　正光

2. 組織の概要

(1) 名 称 及 び　　株式会社トーカイ
　　代　表　者　　代表取締役　平川　正光

(2) 所在地　　本社　　熊本県菊池市泗水町福本865番地1
　　資材置場　熊本県菊池市七城町亀尾北畑2685番地1

(3) 環境管理責任者　　責任者　　専務取締役　中山　義孝
　　及び担当者　　連絡先　　TEL　0968-38-6177
　　FAX　0968-38-6178
　　メール　　tokai@cronos.ocn.ne.jp
　　事務局　　堤　　忍

(4) 事業の沿革　　昭和28年11月19日　創業
　　昭和40年 6月25日　建設業登録
　　昭和48年 6月28日　建設業許可　現在に至る
　　平成 5年 4月 5日　(有)東海建設から(株)トーカイへ商号変更

(5) 事業内容　　特定建設業　許可番号　熊本県知事　特-2　第001722号
　　土木工事業　　とび・土工工事業
　　舗装工事業　　水道施設工事業
　　解体工事業

　　産業廃棄物収集運搬業　許可番号　第04300173351号

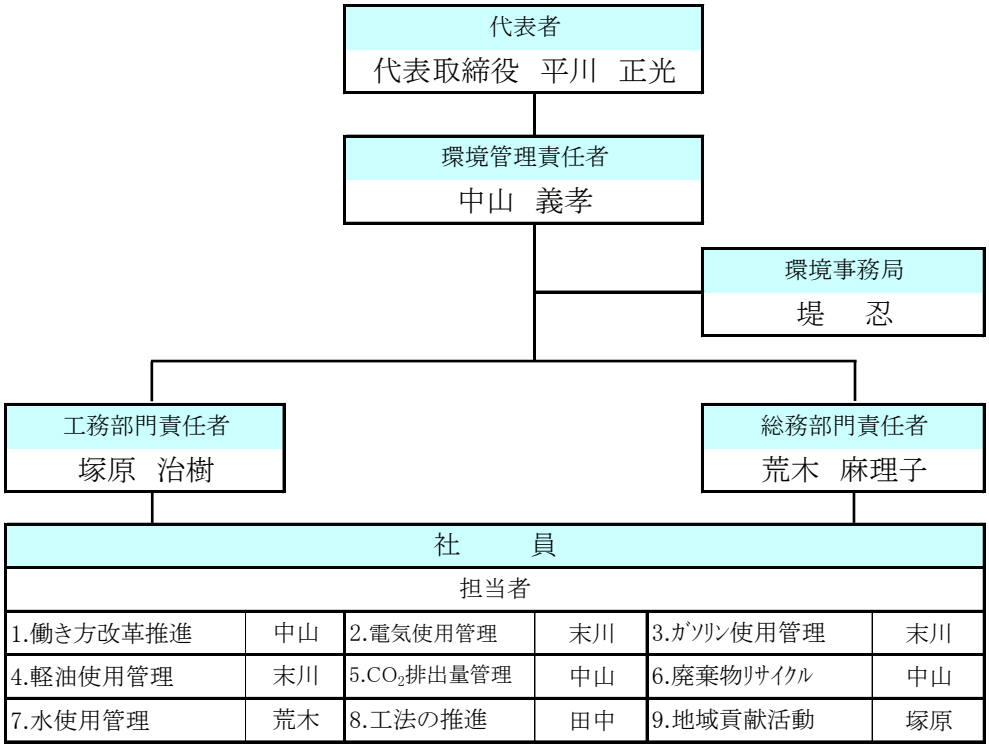
(6) 事業の規模

資本金	3,000万円
売上高(2022年度)	603百万円
工事件数	15件
従業員数	15人
本社事務所床面積	142.64m2
資材置場床面積	343.52m2

(7) 対象期間　　9月～8月

(8) 対象範囲　　全組織、全活動

3. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



役割	責任及び権限
代　　表　　者	・環境方針を定める ・環境管理責任者を任命する ・環境への取組を適切に実行するための資源（人員、設備、費用）を準備する ・全体の評価と見直しを実施し、必要な指示を行う
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、維持に関する責任と権限を有する ・文書・記録を確認し承認する ・環境経営システムの運用状況、実績を代表者に報告する
ＥＡ21 事 務 局	・全体計画の立案を行う ・文書の作成、管理を行う ・一般教育の実施、管理を行う ・システム運用上の事務管理を行う
部 門 責 任 者	・必要に応じ部門計画を立案する ・実務教育を実施する ・実施教育を確認し、記録をとる
社　　員	・担当する業務に関連した環境目標及び環境活動計画の内容、手順を認識し、自らの役割を実行する

4. 主な環境負荷の実績

項　目	単　位	2019年	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	99,066	90,677	92,569	97,846
産業廃棄物排出量	t	1,021	3,431	1,391	1,133
総排水量	m3	99	222	128	95

5. 中期環境経営目標

年度 / 項目	基準年度(実績)	目　標			
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	2021.9～2022.8	2022.9～2023.8	2023.9～2024.8	2024.9～2025.8	2025.9～2026.8
	R3.8～R4.8	R4.9～R5.8	R5.9～R6.8	R6.9～R7.8	R7.9～R8.8
1. 働き方改革への取組	①人材確保 ②ICT化推進 ③工期短縮	①人材確保 ②ICT化推進 ③工期短縮			
2. 電力使用量の削減		-1%	－1.5%	－2.0%	-2.5%
kWh	19,527	19,332	19,234	19,136	19,039
CO_2換算(Kg-CO_2)	9,353	9,260	9,213	9,166	9,120
3. ガソリン使用量の削減		-1%	－1.5%	－2.0%	-2.5%
L	11,095	10,984	10,929	10,873	10,818
CO_2換算(Kg-CO_2)	25,740	25,483	25,354	25,226	25,097
4. 軽油使用量の削減		-1%	-1.5%	-2%	-2.5%
L	22,935	22,706	22,591	22,476	22,362
CO_2換算(Kg-CO_2)	59,172	58,581	58,285	57,989	57,693
5. CO_2排出量の削減		-1%	－1.5%	－2.0%	-2.5%
(kg-CO_2)	94,266	93,323	92,852	92,381	91,909
6. 廃棄物リサイクルの	リサイクル率100%維持	リサイクル率100%維持	リサイクル率100%維持	リサイクル率100%維持	リサイクル率100%維持
100%維持　　%	100	100	100	100	100
	1, 391.1t（実績）				
7. 水使用量の維持・削減		-1%	-1.5%	-2%	-2.5%
m3	128	127	126	128	125
8. 環境に配慮した					
工法の推進	毎月工務部会議	毎月工務部会議	毎月工務部会議	毎月工務部会議	毎月工務部会議
	で検討会実施	で検討会実施	で検討会実施	で検討会実施	で検討会実施
9. 地域貢献活動					
ロード・クリーンボランティア	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
森林整備	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回

※　電力のCO_2排出量は、エコアクション21プラザ排出係数の令和4年九州電力調整後排出係数0.479を使用した。

6. 2022年度環境経営目標及びその実績

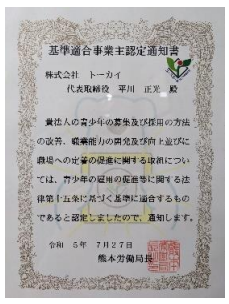
項目 ＼ 実績・目標	基準年度(実績)	目　標	実　績	目標達成率
	2021年度	2022年度	2022年度	2022年度
	2021.9～2022.8	2022.9～2023.8	2022.9～2023.8	2022.9～2023.8
	R3.9～R4.8	R4.9～R5.8	R4.9～R5.8	R4.9～R5.8
売上高 （百万円/年）	343	―	603	
1. 働き方改革への取組	求人広告配布	①人材確保	求人広告配布	
	ICT現場施工	②ICT化推進	ICT現場施工	100%
	ｵﾝﾗｲﾝ会議	③工期短縮	ｵﾝﾗｲﾝ会議	
	工期短縮会議実施		工期短縮会議実施	
2. 電力使用量の削減		-1.0%		
kWh	19,527	19,332	17,503	110.4%
CO_2換算(Kg-CO_2)	9,353	9,260	6,686	
売上高当たり(Kg-CO_2-百万円)	27.3		11.1	
3. ガソリン使用量の削減		-1.0%		
L	11,095	10,984	14,364	76.5%
CO_2換算(Kg-CO_2)	25,740	25,483	33,353	
売上高当たり(Kg-CO_2-百万円)	75.0		55.3	
4. 軽油使用量の削減		-1.0%		
L	22,935	22,706	22,406	101.3%
CO_2換算(Kg-CO_2)	59,172	58,581	57,807	
売上高当たり(Kg-CO_2-百万円)	172.5		95.9	
5. CO_2排出量の削減		-1.0%		
(Kg-CO_2)	94,266	93,323	97,846	95.4%
6. 廃棄物リサイクル率の100%維持	リサイクル率100%維持	リサイクル率100%維持	リサイクル率100%維持	
%	100	100	100	100%
	1391.1t （実績）		1133.09t(実績)	
7. 水使用量の維持・削減				
m3	128	127	95	133.7%
8. 環境に配慮した工法の推進	低燃費車両	毎月工務部会議	低燃費車両	
	買い替えの実施	で検討会実施	買い替えの実施	100%
9. 地域貢献活動				
ロード・クリーンボランティア	1回	1回	1回	100%
森林整備	ｺﾛﾅｳｨﾙｽ感染予防中止	1回	ｺﾛﾅｳｨﾙｽ感染予防中止	

※ 電力のCO_2排出量は、エコアクション21プラザ排出係数の令和5年九州電力調整後排出係数0.382を使用した。

$$目標達成率＝\frac{目標}{実績}\times 100$$

7. 環境経営計画とその実施状況

環境目標	活動計画 （達成手段、期限）	評価	責任者
1.働き方改革への取組	1. 求人広告（ホームページ）	○	中山
	2. オンライン会議	○	
	3. 工事現場のICT化施工 （導入に関する講習も積極的に）	○	
	4. 工務部会議での工期短縮会議	○	
	5. ユースエール認定	○	
2.電力使用量の削減	1. 空調管理温度（冷房時27℃、暖房時21℃）を徹底する	○	末川
	2. 不在時、昼休みは消灯する	△	
	3. ブラインド、よしずの使用	○	
	4. エアコンのフィルタ清掃（夏、冬1回）	○	
3.ガソリン使用量の削減	1. 車両の始業点検、定期点検を確実に行う	○	中山
	2. アイドリングストップを実施する	○	
	3. 不要物を積載しない	○	
	4. 空気圧チェック（月1回）	○	
	5. ふんわりアクセルeスタート	○	
4.軽油使用量の削減	1. 車両の始業点検、定期点検を確実に行う	○	中山
	2. 重機のアイドリングストップを実施する	○	
	3. 不要物を積載しない	○	
	4. ふんわりアスセルeスタート	○	
5.CO2排出量の削減	1. エネルギーの使用量を削減する	○	中山
6.廃棄物リサイクル率の100%維持	1. 廃棄物の分別区分を徹底する	○	中山
7.水使用量の維持・削減	1. 蛇口に節水ステッカーを貼る	○	荒木
	2.水道メーター検針時、異常が発生した場合は至急対応する	△	
8.環境に配慮した工法の推進	1.施工打合せ会議で検討する	○	田中
9.地域貢献活動	1. ロードクリーンボランティア　年1回	○	塚原
	2. 森林整備　　年1回　（コロナウイルス等の為）	×	



ユースエール認定交付式（熊本労働局）

ユースエール認定制度

若者の採用・育成に積極的で、
若者の雇用管理の状況などが
優良な中小企業を厚生労働大臣
が認定する制度
2023年7月認定

8. 取組状況の確認・評価、次年度の取組

（期間　：　2022(R4)年9月～2023(R5)年8月

環境目標項目	目標 達成状況 （目標達成率%）	達成・未達成の要因 （環境目標の妥当性、環境活動計画の実施状況含む）	次年度の取組み 環境目標の追加変更 環境活動計画への追加変更
1. 働き方改革への取組	達成 100%	会社案内のパンフレットは、各高校へ郵送したが、未だコロナ禍等で訪問は出来ず。熱中症対策として、引き続きドリンクを購入現場にも常備した。	引き続き活動計画に基づき実施する
2. 電力使用量の削減	達成 110.4%	積極的に電力使用の削減に取組んだ為、目標達成となったが見直しの必要がある。	引き続き活動計画に基づき実施する
3. ガソリン使用量の削減	未達成 76.5%	遠方の現場（宇土長浜）が9ヶ月続き、ガソリンの使用量が増加した。	引き続き活動計画に基づきエコドライブの徹底
4. 軽油使用量の削減	達成 101.3%	下請工事、民間工事の軽油使用量は把握できていない。	エコドライブの徹底 低燃費重機機械の使用
5. CO_2排出量の削減	未達成 95.4%	ガソリン使用量の増加により CO2排出量が増加した。	引き続き活動計画に基づき実施する
6. 廃棄物リサイクル率の100%維持	達成 100%	法に基づき、適正な処理に努めた。	次年度も適正な処理に努める
7. 水使用量の維持・削減	達成 133.7%	節水を徹底する。 漏水箇所（製氷機）を確認。修繕を行う。 前期に比べ、削減できた。	引き続き活動計画に基づき実施する
8. 環境に配慮した工法の推進	達成 100%	毎月1回、施工打合せ会議実施。 建設機械、建設車両の状態確認実施。 現場作業車を燃費の良い車両に買い替えた。	引き続き施工打合せ会議等で検討する
9. ロード・クリーンボランティア森林整備	達成 100%	ロード・クリーンボランティア　1回。 森林整備は現地の都合（コロナウィルス等）で実施できなかった。	引き続き環境活動計画に基づき実施する

施工実績

熊本57号長浜地区工事用道路工事
九州地方整備局八代河川国道事務所発注

令和3年度　田島住吉線舗装補修工事（1工区）
菊池市役所発注

9. 環境関連法規等の遵守状況

1. 法的義務を受ける主な環境関連法規制は下記のとおりである。

適用される法規名称	摘要規制事項	適用を受ける内容	順守評価
廃棄物処理法	建設工事廃棄物の適正な処理	一般廃棄物においては、分別・減量。建設廃棄物においては、収集運搬業許可証の維持、保管基準の順守、委託契約の締結、マニフェスト伝票の交付・保管	○
建設リサイクル法	廃棄物を現場で分別し、資材ごとに再利用する	対象工事の届け出、土木工事に係る建設副産物の再資源化及び利用促進	○
オフロード法	建設工事に使用する機械による大気汚染防止	排出ガス対策型機械の使用	○
騒音規制法	特定建設作業における騒音の規制	作業開始前に特定建設作業の届け出（杭打機、削岩機、バックホウ、ブルドーザ使用による作業時）※熊本市環境政策課	○
振動規制法	特定建設作業における振動の規制	作業開始前に特定建設作業の届け出（杭打機、舗装版破砕機、バックホウ、バイブロハンマー使用による作業時） ※熊本市環境政策課	○
家電リサイクル法	テレビ、エアコン、冷蔵庫	リサイクル料の支払い、廃棄時の適正処理	○
小型家電リサイクル法	パソコン	リサイクル料の支払い、廃棄時の適正処理	○
自動車リサイクル法	自動車	廃車時の適正処理	○
改正フロン抑制法	業務用空調機	フロン類の登録回収業者による適正な回収	○

2.環境関連法規への違反、訴訟はありません。
　また、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘、苦情はありません。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

今回も、環境経営目標は、ほぼ達成できた。
違反の指摘、苦情等の問題は発生していない。

昨年に引き続き『エコアクション21の2017年ガイドライン』に基づき環境経営に取り組みました。
弊社にとって引き続き継続すべき課題は、高齢化している建設業界において次の世代の若者を雇い入れ、新たな人材を育てて行くことに変わりはありません。
本年は、ユースエール認定企業（若者の雇用・育成に積極的で雇用管理が優良な企業）に認められました。
これから、ますます働き方改革・資源エネルギーの消費削減・IT化施工など人と環境への負荷低減を行い、社会活動・地域に貢献し、若い世代の人達にとってますます魅力ある企業となるよう環境経営に取り組んで参ります。

11. 地域環境活動

ロード・クリーンボランティア活動

国道387号（泗水橋右岸側～県道原植木線交差点）

2023年9月1日実施